

Newsletter



No. 60 1995. 9. 20

〒141 東京都品川区大崎 5-6-2 産能大学内

事務局：

日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL 03-5487-8864

日本教育情報学会第11回年会 開催報告

去る8月17日(木)、18日(金)の両日、日本教育情報学会第11回年会在「新世紀の教育と情報・コンピュータの可能性」をテーマにルビノ京都堀川(京都市)で開催されました。五山の送り火大文字の翌日という猛暑の中でしたが、約200名の方が出席され、盛会のうちに進めることができました。

年会テーマと同じ「新世紀の教育と情報・コンピュータの可能性」をテーマにしたシンポジウム(公開対論)は、勝藤和子さん(元穴吹電子専門学校講師)の司会により、コンピュータユーザの立場から中山和彦筑波大学学術情報処理センター教授に、コンピュータのハード・ソフトの開発者の立場から神田泰典(株)富士通パーソナルズ副社長に講演をいただいた後、フロアとの意見交換を行いました。さらに、これらを総括してお二人に「新世紀の教育と情報・コンピュータの可能性」について講演いただき、最後に深谷哲相山女学園大学教授と若山皖一郎東京電機大学教授から締め括りのコメントがなされました。

また、課題研究として「マルチメディア・データベースの教育利用」「新学力観と情報教育」「国際協力・国際理解と情報教育」の3テーマについて14名の方から発表がありました。一般研究も「教材開発」「情報教育ネットワーク」など11テーマについて日頃の研究成果53件が発表されました。合わせて、情報教養研究会との共催で行われた学校教育実践フォーラムでは11件の発表がなされました。

今回1日目終了後に開かれた懇親会には約50名の方が参加され、久しぶりに再会された方、初対面の方同士とも、ご自身の研究テーマやシンポジウムなどを話題に活発な話し合いの場として親睦が図られ、盛況に終えることができました。

年会の成功のため準備から当日運営まで、多くのお手数をおかけいたしました年会実行委員会の皆さまには、心からお礼申しあげます。

なお、第12回年会は、1996年8月8日、9日に東京の国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催する予定です。詳細が決まりしだいNews letter等でお知らせいたします。

定 款 変 更 に つ い て

8月17日13:30からルビノ京都堀川において日本教育情報学会第11回定時総会が開催され、提案されました4議案は、すべて原案通り承認されましたことをご報告いたします。(議案内容については、News letter No.59をご参照ください)

この議決により定款が変更されましたので、変更点についてご案内いたします。

(1) 第8条に第2項を加える。

「②公共会員の代表者1名は、正会員とみなす。」

従来、公共会員には会員の権利の多くが認められていなかったが、本会の重要な構成員である公共会員の代表者に正会員と同様の権利を付与するための変更。

(2) 第11条の一般会員の会費の年額を改め、並びに第3項を加える。

「一般会員 年額 7,000円」

「③理事会の承認を経て、会費を免除することができる。」

本会の経費は主として会費によって支えられていますが、10年前の発足時から据え置かれたままになっています。特に一般会員の会費は定期的に送付するものの経費と比べても低く抑えられているため。また、本学会の活動に功績のあった方や特にお願いして会員となっていたいただいた方などの会費を免除する項目を加える。

なお、一般会費の変更は96年度会費から適用になります。

また、今回変更後の定款を同封いたしましたので、ご査収ください。

公 共 会 員 に 関 す る 規 定 の 制 定 に つ い て

定款の第8条の変更に合わせて、「公共会員に関する規定」を制定することが理事会で承認されました。

公 共 会 員 に 関 す る 規 定

1995年8月17日制定

日本教育情報学会定款第8条に定める公共会員について次のように定める。

1. 公共会員は、代表者を1名定め登録する。
2. 公共会員の構成員は、代表者の委任を受けて代表者の代理となることができる。
3. 公共会員の構成員は、機関誌に論文を投稿し、本会の主催する学術講演会、研究発表会に研究を発表し、各種行事に参加できる。
4. 公共会員への機関誌の配付部数は2部とし、代表者に送付する。
5. 本規定の制定及び改廃については、定款第38条に定めるところにより、理事会で決定する。

情報スーパー・ハイウェイ

— 加速する研究・教育・医療 —

このシンポジウムは、わが国の大学等の研究者によって達成された最新の独創的かつ先端的な研究成果を、学界だけでなく、広く一般の方々に公開・発表し、理解していただくことを目的としております。多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成7年12月5日(火)～6日(水)

場 所：東京/日経ホール

参加費：無料(申込者が多数の場合は、抽選となります。)

第1日目：平成7年12月5日(火) -10:00~17:00-

- A. 挨拶 第10回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会 文部省
- B. 総合講演 <司会>学術情報センター教育研修部長 井上 如
●社会資本としての情報インフラストラクチャー学術情報センター所長 猪瀬 博
●情報スーパー・ハイウェイと新しい研究環境ラトガース大学副学長 ジェームス・フラナガン
- C. デジタル技術の中の研究情報<司会>学術情報センター教育研修部長 井上 如
●電子漢字六万五千字-漢籍のコンピュータ処理の現状-京都大学人文科学研究所 附属東洋学文献センター助教授 勝村 哲也
●写真で語る日本開化史-日文研における写真データベース国際日本文化研究センター助教授 小野 芳彦
●電子図書館早分かり学術情報センター教授 安達 淳
●電子文書・電子出版から電子取引まで-SGMLをめぐる諸活動-学術情報センター教授 根岸 正光

第2日目：平成7年12月6日(水) -10:00~17:05-

- D. 情報教育への拡がり <司会>学術情報センター教授 根岸 正光
●電子美術館-ミュージ-イメージネールの実現-東京国立博物館情報管理研究室長 高見澤 明雄
●情報利用教育-学術情報サービスの礎石として-学術情報センター教育研修部長 井上 如
●情報教育の現状と将来大学入試センター副所長 坂元 昂
- E. 加速する医療と生活 <司会>学術情報センター教授 根岸 正光
●ネットワーク生活の時代ニフティ(株)取締役企画部長 山川 隆
●電子ブックの開発と可能性ソニー(株)CAVカンパニーPAV部門 GA2部商品設計4課担当部長 宇喜多 義敬
●超高速通信と病院ネットワーク東京大学医学部教授 開原 成允
●脳と情報における個人差の意味元東京大学教授 養老 孟司
- F. 座長挨拶 学術情報センター教育研修部長 井上 如

- 申込方法：①住所・郵便番号・電話番号(自宅か勤務先かを明記) ②氏名・年齢・性別
③職業(勤務先・役職名) ④セッション名『情報スーパー・ハイウェイ』
⑤参加希望日時(2日間両日のご参加も歓迎致します。)
をご記入のうえ、はがき、またはFAXでお申込みください。
受講者には、資料引換券を郵送します。

- 申込み・お問合せ先：『情報スーパー・ハイウェイ』事務局
〒105 東京都港区虎ノ門3-16-7 ピュア虎ノ門3F (南)アドスリー内
TEL: 03-3459-0006 FAX: 03-3459-6894

●世界コミュニケーション年を記念した「第11回コミュニケーション・フォーラム」ご案内

メインテーマ：新しい人間の創造性と教育を考える

～マルチメディア時代とヒューマンリソースディベロップメント

主催 財団法人情報通信学会、国際連合大学、郵政省郵政研究所

日時 平成7年10月26日（木）～27日（金）

会場 国連大学国際会議場（東京都渋谷区）

参加費 一般10,000円、情報通信学会員 5,000円、学生 1,000円

申込先 情報通信学会 Tel 03-3237-2815

プログラム（同時通訳が入ります）

〔10月26日〕

開講あいさつ 猪瀬 博（情報通信学会会長・学術情報センター所長）

エイトール・グルリーノ・デソウザ（国際連合大学学長）

吉村剛太郎（郵政政務次官）

基調講演 梅棹忠夫（国立民族学博物館顧問）

（インタビュー方式） 浜野保樹（放送教育センター助教授）

基調講演 Dr. エリザベス M. デイリー（南カリフォルニア大学映画・テレビ学部学部長）

セッション1 デジタル・コンテンツの専門家養成

チャーター 鈴木 稔（㈱モノリス取締役）

スピーカー 猪股裕一（多摩美術大学美術学部助教授・MdN代表）

杉山知之（デジタルハリウッド㈱社長）

藤幡正樹（慶應義塾大学環境情報学部助教授）

コメンテーター エリザベス M. デイリー（南カリフォルニア大学映画・テレビ学部長）

レセプション

〔10月27日〕

セッション2 発展途上国においてマルチメディアが教育と情報アクセスにもたらインパクト
：革新的変化と対応（TV会議方式併用）

チャーター グレン・パオレット（国際連合大学プログラム・アソシエイト）

小菅敏夫（電気通信大学電気通信学部教授）

スピーカー ジョン クレイトン（南太平洋大学コンピュータサービスディレクター フィジー）

ローリー ムタイダ（ハワイ大学 社会科学研究所ディレクター）

ウェスレイ ウォート（国連環境計画情報担当官 サモア）

ウトロ サストロクサーサム（インドネシアバンドン工科大学教授）TV会議参加

ケン J. マクレアン（オーストラリアサエ工科大学教授）TV会議参加

セッション3 マルチメディアを使いこなすための教育・訓練

～マルチメディア時代の情報リテラシーの向上のために

チャーター 小林宏一（東京大学社会情報研究所教授）

スピーカー 佐伯 胖（東京大学教育学部教授）

鈴木 元（NTTソフトウェア㈱インターネット推進本部本部長）

長谷川文雄（東北芸術工科大学デザイン工学部教授）

ジーン・ウィット（アメリカンスクール イン ジャパン技術部長）

山川鉄郎（郵政研究所通信経済研究部長）

閉会あいさつ 小菅敏夫（フォーラム実行委員長 電気通信大学電気通信学部教授）

学会誌「教育情報研究」への投稿について

日本教育情報学会では、学会誌「教育情報研究」への投稿を募集しています。本誌は会員の皆さまの日頃の研究成果を発表していただく場として年4回発行を続けており、研究資料としても広く活用されています。本学会の活動を拡充させる上でも、積極的な投稿をお願いします。